

新春特集号 地域社会と共に歩む建設業界

若者よ、共に目指そう社会基盤の守り手に!



第44号

発行日 令和7年1月1日
編集発行 富士建設業協同組合
事業・広報委員会
印刷 フジ印刷

信頼 協調 誠実

新年のご挨拶



富士宮建設業協同組合 理事長 河原崎 利光

新年明けましておめでとうございます。皆様のご健勝ご多幸をお祈りし、謹んで新春をお祝い申し上げます。また組合員並びに関係各位の皆様におかれましては、日頃より当組合の運営にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

令和5年5月16日の総会において、清理事長の後を引き継ぎ、理事長に就任いたしました。令和5年11月7日には、組合創立50周年式典を「花の湯」において挙行しましたが、大役を無事に終えたことに安堵するとともに、理事長としての責務の重さを痛感しております。これから先も組合が60周年70周年と歴史を刻んでいけるよう尽力してまいります。



下は12%しかいません。若年層の3倍にも上る団塊の世代のベテラン技術者が、今後5年から10年の間に大量に現役引退すると見込まれています。2025年問題や2030年問題ともいわれ、人材不足がますます深刻化するようです。

富士宮市においても例外ではなく、2015年に作成された人口ビジョンによると、現状のままに推移すると2060年には人口が約8万6,000人にまで減少するとの予測のなか、行政は人口規模11万人を維持し、人口構造の若返りを目指す対策として「富士宮まち・人・しごと創生総合戦略」を定めました。

大地震や大雨などの自然災害はいつどこで発生するかかわからないのが現実であり、近年激甚化する自然災害に対する防災・減災対策の推進や、社会インフラの老朽化対策、気候変動に対応した新たな国土づくりなど課題が山積みです。人々が安全・安心で暮らせる社会づくりの中心の役割を果たす産業として、私も建設業には大きな使命があり、それに応えなければなりません。

新年のご挨拶



昨年、1月に能登半島地震の発生、9月には能登地方における記録的な豪雨など、各地で多くの被害が発生したことから、改めて自然の猛威を実感した1年でありました。

私は市長として、常に市民の皆様への安全・安心を第一に、迅速かつ的確な対応を心掛けておりますが、いざ災害が発生したときは、官民一体となった対応を図ることが大切です。

そのような中、富士宮建設業協同組合の皆様には、災害時相互応援協定に基づき、住民の安全・安心を確保するため、市と連携して迅速な復旧活動に当たっていただけることになっております。

年頭のご挨拶



では傾斜が多く浸水被害はあまり発生しない地域だと思っておりますが、昨年11月2日の豪雨によってその考えは一変致しました。

その時の豪雨は浸水被害や河川護岸の崩壊など今まで聞いた事がない被害をもたらしました。また、須藤秀忠市長が毎年国土交通省にご要望にされる富士山の治山治水対策事業ですが、以前は数年に1度発生するスラッシュ雪崩の為に大沢扇状地の浸水等に対応するイメージでしたが、今や毎年スラッシュ雪崩が発生する状況になっております。

新年明けましておめでとうございます。旧年中も皆様に大変お世話になりました。特に衆議院総選挙では自分の力不足で結果を出すことができませんでした。皆様から大きなご支援をいただいた事、比例区での議席をいただいた事で、3期目の当選を果たすことができました。

富士宮市長 須藤 秀忠

の連携が必要であるとの報告を受けておりますので、皆様の存在は、誠に心強く、大変ありがたく感じております。さて、昨今の建設業界は、様々な変化に直面しており、高齢社会の進展に伴う労働力不足が深刻な問題となっております。

特に、若い世代の建設業界への参入が求められていることから、業界全体で働きやすい環境整備を行い、多様な人材が活躍できる職場づくりや技術者の育成に力を入れることが今後の業界の発展につながるものと考えております。

市といたしましては、週休2日推進工事を大幅に拡大して導入するなど、働き方改革をはじめとする様々な取組を行ってまいりますので、皆様におかれましては、

衆議院議員 深澤 陽一

り、その為的根拠をもって安定的に予算確保、事業推進を図るため、一昨年「改正国土強靱化基本法」を成立させ、計画に基づいて事業を進めることとなりました。本来であれば「国土強靱化中期計画」を令和6年度早期に作ることにしておりますが、政局が不安定であったことも一因との噂もありませんが、少し遅れております。できるだけ早期に計画を纏め上げられるよう努力してまいります。特に私はこの度、自民党の国土交通部会長代理(部会長は静岡6区勝俣孝明衆議院議員)を任命致しましたので、自民党内をまとめ、早期に成果を出してまいりたいと考えております。

年頭のごあいさつ

富士宮市議会議長 諏訪部 孝敏



新年あけましておめでとうございます。

富士宮建設業協同組合の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。皆様方におかれましては、組合員各位の結束と協力の賜も、社会基盤の整備や社会貢献活動を通じて、地域社会の発展と安心・安全なまちづくりにご尽力いただいておりますこと、市議会を代表し、心より御礼申し上げます。さて、昨年を振り返りますと、ちょうど1年前の1月1日午後

新年のごあいさつ

静岡県議会議員 木内 満



新年明けましておめでとうございます。令和7年の新しい年の始まりを心よりお慶び申し上げます。

富士宮建設業協同組合の各位におかれましては、平素より円滑且つ正確で高品質な公共工事の推進はもとより、災害時の迅速な緊急工事や様々なボランティア活動への協力を通じて、安心して暮らせる富士宮市の実現に多大なるご貢献を頂いておりますこと、県政に携わるものとして、また一人の市民として心より感謝申し上げます。

の方々が非常に大きな役割を担われていることと、建設業は平時の社会基盤の整備・維持管理に加え、災害発生時には復旧・復興作業を一手に担う、大切な基幹産業であることを改めて認識いたしました。

一方で、地方の建設業全体の傾向として、近年の人口減少や若者の都市部への流出により、技術者の高齢化や次世代の担い手不足といった課題が顕在化しており、人材の確保や若手の育成が急務であると同様に、建設業の衰退は、道路や橋といった社会インフラの維持管理に支障をきたすだけでなく、災害発生時の対応力の低下、雇用機会の減少、経済循環の縮小による地域経済への影響など、市民生活にも大きな影響をもたらすものと認識しております。

市議会といたしまして、貴組合からのご意見やご要望も踏まえて再確認する1年でした。災害対策は、政治の最大の使命であり、最優先で取り組むべき事項です。着実なインフラ整備と災害対策のための予算を確保しながら、より実効性の高い整備が行えるように、県議会の立場から余念なく働きかけを行うて参ります。

令和6年は元日の能登半島地震で幕を開けました。まさに、災害がいつ来るか分からないということを象徴する出来事でした。能登半島地震では、想定外の地形の変動により救助や救援が思うように届かない事態に歯がみをする思いで報道をご覧になった方も多いかと思えます。昨年8月には、南海トラフ臨時情報「巨大地震注意」が初めて発出されました。これは南海トラフ巨大地震の想定震源域でM6・8以上の地震が発生したことに伴う措置です。1週間以内の間に伴う措置です。1週間以内の間に伴う措置です。1週間以内の間に伴う措置です。

え、市当局と連携を図りながら、建設業全体の安定的かつ持続的な発展に向けた取り組みを進めてまいり所存です。貴組合におかれましても、業界全体の魅力向上を図りながら、次世代の人材の確保・育成に取り組んでいただき、安心・安全な市民生活を支える基幹産業として、引き続きお力を発揮していただきますようお願い申し上げます。

本年の干支は「巳」であります。「巳」は脱皮を繰り返して成長することから、「巳年」は成長と進化を象徴する年になるといわれています。新しい年が、富士宮建設業協同組合にとってさらなる成長と進化、発展の年となるよう祈念するとともに、組合員の皆様の一層のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

立場から提言して参ります。今まさに令和7年度の予算編成も行われています。この予算編成が鈴木県政における難型となるものであり、「総合計画」の策定と並んで重要な意味を持ちます。鈴木知事は浜松市における「財政再建」を実績に掲げ当選しました。しかし、「財政再建」を優先し県民サービスが損なわれることがあってはなりません。特に、冒頭で述べたようなインフラ整備や災害対策に関する予算の動向には特に注視し予算編成に臨んで参ります。

昨年8月には、南海トラフ臨時情報「巨大地震注意」が初めて発出されました。これは南海トラフ巨大地震の想定震源域でM6・8以上の地震が発生したことに伴う措置です。1週間以内の間に伴う措置です。1週間以内の間に伴う措置です。1週間以内の間に伴う措置です。

新年のごあいさつ

国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所長 光 永 健 男



新年あけましておめでとうございます。

富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては新年を健やかに迎えられることと心よりお慶び申し上げます。また、平素より、国土交通行政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことについてこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

報「巨大地震注意」が発表され、地震や富士山噴火に対しても備える必要性を再認識しました。

さらに、台風10号の影響による大雨や、11月2日の夕刻には短時間ではあったものの11月としては記録的な大雨もありました。

能登半島地震と8月の東北地方の大雨の際には当事務所から被災地へ緊急災害対策派遣隊（TEICFORCE）を派遣しました。前者では災害協定に基づき「一社」富士建設業協会から国交省の待機支援車の管理要員を派遣していただきました。

砂流出などがありました。この際には皆様が速やかに対応して下さいました。

既設の施設も効果を発揮しており、4月のスラッシュ雪崩では、大沢遊砂地（上井出）において約12立方メートル（速報値）の土砂を捕捉して下流への流出を防ぎました。

現在「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」を実施中ですが、加速化対策後も切れ目なく継続的・安定的に取組みを進める為、国土強靱化実施中期計画を早期に策定し、必要な事業規模を確保することが必要です。

る建設業への取り組みも待たなしです。技術革新や社会環境変化も踏まえつつ、ICT施工や3次元データ等デジタル技術を活用した生産性の向上、防災・減災対策の高度化などを推進していかねばなりません。当事務所では昨年11月8日にBIM/CIM講習会を開催するなどしてまいりました。

また、中部地方整備局の「旬の現場（現場見学）への取組を通じて、多くの方々に現場を訪れていただくとともに、当事務所からも各種イベントに参加したり出前講座を行ったりして事業のPRに努めています。皆様と協力して魅力ある建設業を創り出していただければと思います。

結び、富士宮建設業協同組合ならびに会員の皆様のご発展と、会員各位のご健勝、ご活躍をご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

令和7年が様々な混乱を治め明るい未来を展望出来る1年に出来る事を祈り、新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

静岡県富士土木事務所長 平 井 一 彰



新年明けましておめでとうございます。富士宮建設業協同組合の皆様におかれましては、新年を健やかに迎えられたことと心からお慶び申し上げます。また、日頃より、本県の社会資本整備の推進をはじめ、災害発生時の復旧活動など、地域の安全で安心な暮らしの実現に向けて多大な御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、富士土木事務所では、富国・有徳の美しい「ふじのくに」の実現に向けた「いっし

よに、未来の地域づくり」の基本理念のもと、道路、河川、砂防等の社会資本の整備を推進しているところです。また、令和5年6月に富士山の世界文化遺産登録10周年を迎え、アフターコロナでのインバウンド回復などの影響も重なり、今後さらに国内外から多くのヒトやモノの交流が活発になることが期待されています。

一方、気候変動の影響で激甚化・頻発化する自然災害。想定される大規模地震による甚大な被害が懸念されています。富士土木事務所管内では、令和5年6月及び8月の台風の影響により、多数の人家等が浸水の被害を受けたところがあります。また、令和6年8月に「巨大地震注意」が発表され、社

会全体に緊張が走ったことは記憶に新しいことと思います。このような激甚化する自然災害や大規模地震への対応は、もちろんのこと、加速化する社会インフラの老朽化対策など、安全・安心への備えが重要となっており、「地域の守り手」として建設業が果たす役割はますます高まっています。加えて必要となるのが、建設業における生産性の向上に向けた取組です。社会全体におけるデジタル化の推進を踏まえ、ICT活用工事や提出書類のオンライン化など、各種技術のより一層の普及を進め、「働き方改革」を推進することにより、深刻化する担い手の確保や育成支援にも繋がるものと考えています。社会資本の整備は、未来への投資です。富士土木事務所では、地域の皆様と協働しながら、多様な課題に対応すべく、道路、河川、砂防、都市計画等の各事業を進めてまいります。富士宮市内においても、国道469号精進川工区や都市計画道路田中青木線の整備、河川護岸の改修や河道掘削、砂防堰堤や急傾斜地崩壊対策施設の整備などを推進してまいります。

新年のごあいさつ



静岡県富士農林事務所長 諸田 僚

新年明けましておめでと  
うございます。

富士宮建設業協同組合の  
皆様には、健やかに新年をお  
迎えのことと、心よりお喜び  
申し上げます。

また、富士宮建設業協同  
組合の皆様方におかれまし  
ては、日頃から本県の農林  
業行政の推進に御理解と御  
協力をいただき、厚く御礼  
申し上げます。

さて、昨年、農業の分野で  
は、大きな動きがありました。  
ここ数年、ロシアによるウク  
ライナ侵攻や気候変動など  
を背景に、「海外から主要食  
品が調達できなくなるので  
はないか」、国内農産生産者  
の高齢化・離農などから、「国  
内生産力が弱まるのではな  
いか」と、食料の安定確保が  
懸念されておりました。その  
ため、政府は、食料安全保障  
の強化を図るため、「農政の  
憲法」とされる「食料・農業・  
農村基本法」を改正し、法律  
の基本理念に、「食料安全保  
障の確保」を新たに加えた上  
で、スマート技術を活用した  
生産性の向上や農業法人の  
経営基盤の強化に取り組ん  
でいくこととしました。

いかに、食料の安定確保が  
懸念されておりました。その  
ため、政府は、食料安全保障  
の強化を図るため、「農政の  
憲法」とされる「食料・農業・  
農村基本法」を改正し、法律  
の基本理念に、「食料安全保  
障の確保」を新たに加えた上  
で、スマート技術を活用した  
生産性の向上や農業法人の  
経営基盤の強化に取り組ん  
でいくこととしました。

富士農林事務所では、地域  
農業の生産力を高め、持続可  
能な農業の実現のため、これ  
までも、生産性向上や環境に  
配慮したインフラ整備に努  
めており、区画整理や水利施  
設の更新など、農地の基盤整  
備や防災・減災対策に取り  
組んでいるところであります。今  
後もスマート技術の導入と  
併せ積極的に進めてまいり  
ます。また、きれいで豊かな  
水の確保や県民の財産・生  
命を守るためには、水源涵養  
や土砂災害防止を図ること  
が重要であることから、治山

事業による森林災害の復旧  
や林道等の路網整備など森  
林・林業の基盤整備にも取  
り組んでまいります。

具体的取組として、農地  
部門では、集落基盤整備事  
業「朝霧高原地区」による  
西富士用水パイプライン等  
の整備、基幹水利施設スト  
ックマネジメント事業「安  
居山頭首工地区」による猫  
沢頭首工の改修、ため池等  
整備事業「田貫湖地区」に  
よる緊急放流施設の整備工  
事を引き続き実施するとと  
もに、ため池等整備事業「羽  
鮎池地区」による堤体の耐  
震対策補強工事に着手し、  
農業生産性の維持・向上を  
図ります。また、大倉川農  
地防災ダム適切な管理・  
運用により、芝川流域の農  
地や住宅の洪水被害防止に  
取り組めます。更に、「ふじ  
のくに美農里プロジェクト」  
等のソフト事業により、農  
村景観を次代に継承する活  
動を支援し、「持続可能な農

村づくり」を推進します。  
森林・林業の分野では、  
森林の公益的機能を持続的  
に発揮させていくため、間  
伐の促進による森林吸収源  
の確保、治山事業による山  
地災害対策、森の力再生事  
業による荒廃森林の整備  
低コスト主伐・再造林の促  
進による持続可能な林業経  
営の支援や森林の適正な管  
理と利用などに取り組んで  
まいります。

新年のごあいさつ



富士宮市都市整備部長 湯澤 智

新年明けましておめでと  
うございます。

謹んで新春のお慶びを申  
し上げます。旧年中は、皆  
様方には富士宮市の都市整  
備事業に対し多大なるご理  
解とご協力を賜り、厚く御  
礼申し上げます。

本市では、これまで住み  
やすく、魅力あるまちづく

りを推進してまいりました。  
今年も変わらず、市民の皆  
様並びに富士宮建設業協同  
組合の皆様と共に、さらなる  
都市の発展と安全な暮ら  
しの基盤づくりに取り組ん  
でいく所存です。特に、地  
域の特性を活かした持続可  
能な開発と環境に配慮した  
整備を心がけ、富士宮市の  
魅力を最大限に活かし、次  
世代に誇れる街づくりを推  
進していくために、これか  
らも都市整備部職員一同、  
技術力の向上や若い世代の  
育成に力を入れていく所存  
です。

さて、建設業界はこれま  
で数々の困難や課題に直面  
してきましたが、富士宮建  
設業協同組合の皆様は常に  
力を合わせてそれらを乗り  
越えてきました。今年も変  
わらず、地域の発展と安全  
な生活基盤の構築に貢献し  
また、持続可能な開発や環  
境への配慮を忘れず、地域  
社会に必要とされる存在で  
いらつしやることと存じま  
す。

富士宮市においても、人  
口減少社会の到来、少子高  
齢化、公共施設の更新、道  
路舗装の長寿命化、これら

に伴う人手不足、厳しい財  
政状況など様々な問題に直  
面しており、このことは建  
設業界をリードする皆様方  
も同様であると認識してお  
ります。

これらの問題は、官民と  
もに手を取り合い、知恵を  
絞って解決していく必要が  
あり、またそれだけでなく  
解決できない問題でありま  
すので、今後ともご協力の  
ほどよろしくお願ひします。  
これからの都市整備にお  
いては、災害に強いインフ  
ラの整備や市内交通網の充  
実をはじめ、デジタル技術  
を活用した施策にも力を入  
れる必要があると思つてお  
ります。(下段に続く)

ます。引き続き、皆様のご  
協力をお願い申し上げます。  
本年も変わらぬご指導と  
ご鞭撻を賜りますようお願い  
申し上げますとともに、



富士宮市水道部長 日原文 洋

新年明けましておめでと  
うございます。

富士宮建設業協同組合の  
皆様におかれましては、健  
やかに新年をお迎えのこと  
と心よりお慶び申し上げます。

また、平素より富士宮市  
の上下水道事業に対しまし  
て、多大なる御理解と御協  
力を賜り、あらためて感謝  
申し上げます。

さて、昨年を振り返りま  
すと、地震と豪雨に見舞わ  
れた年であったと思ひます。  
令和6(2024)年1月  
1日、新しい年を迎えたそ  
の日の午後4時10分ごろ、  
石川県能登半島を震源とす  
るマグニチュード7.6の

皆様のご健勝とご多幸、そ  
して益々のご繁栄を心より  
お祈り申し上げます。

地震が発生しました。この  
地震の影響により、最大で  
約14万戸の大規模な断水が  
発生するなど、上下水道施  
設に甚大な被害を及ぼしま  
した。その後、水道施設等  
の復旧のため、日本水道協  
会から職員の派遣要請を受  
け、応急給水支援として、  
病院、老人ホーム、避難所  
等への給水活動、他支援自  
治体と協力しながら漏水修  
繕等を行いました。また、  
8月8日16時42分ごろ、日  
向灘を震源とするマグニチ  
ュード7.1の地震が発生  
しました。この地震の発生  
に伴って、南海トラフ地震  
の想定震源域では、大規模  
地震発生の可能性が平常時  
に比べて相対的に高まって  
いると考えられたことから、  
その日の19時15分に南海ト  
ラフ地震臨時情報(巨大地震  
注意)が初めて発表され、  
身の回りの防災対策の点検、  
確認を行う機会となりまし

た。そして、9月21日には  
能登半島地震後の復興の最  
中、能登地方に豪雨による  
甚大な被害が発生し、今も  
仮設住宅での生活を送って  
いる状況が続いています。

富士宮市では、幸いにも  
大規模な災害等による断水  
等は発生していませんが、  
天候不順による大雨、落雷  
等による被害は随所で発生  
しており、それらの復旧に  
際しましては、皆様の御協  
力もいたさず、皆様の大変に  
際しましては、皆様の大変に  
際しましては、皆様の大変に

このような状況の中、令  
和6年4月、国の水道行政  
が厚生労働省から国土交通  
省と環境省に移管され、機  
能強化と上下水道一体の施  
策を推進することとなりま  
した。

気候変動や物価高騰など  
社会情勢が変化していく中  
ではありますが、富士宮市

新年のごあいさつ



総務・金融委員会 委員長 榎丸進建設 塩川 進

新年明けましておめでと  
うございます。

組合員の皆様におかれま  
しては、健やかに新年を迎  
えられたことと心よりお慶  
び申し上げます。  
また、日頃より当組合の

では上下水道事業におきま  
しては、水道ビジョンで「安  
全」「強靱」「持続」を、下  
水道事業におきましては、  
下水道事業経営戦略で「整  
備計画の推進」「効果的な  
施設更新」「安定的な事業  
運営」をそれぞれ基本方針  
として掲げ取り組んでいま  
す。

本年も引き続きこれらの  
基本方針に基づいて、施設  
の耐震化、長寿命化、老朽  
管の布設替え等を実施して  
いくことで、第5次富士宮  
市総合計画後期基本計画に  
掲げた「安全な水で清潔・  
快適なまち」の実現に努め  
てまいりますので、今後と  
も皆様の変わらぬお力添え  
を賜りますようお願い申し  
上げます。

結び、富士宮建設業協  
同組合の益々の御発展と組  
合員の皆様の御多幸、御健  
勝を祈念申し上げます。新  
年の挨拶とさせていただきます。

024年問題による人手不  
足やコストの増大が業界全  
体の課題となっておりますが、  
昨年4月の働き方改革関連  
法の適用による、社内外の  
労働環境改善、整備などで  
皆さん大変ご苦労されてい  
ることと存じます。

加えて、本年は2025  
年問題に直面する年であり、  
75歳以上の後期高齢者の人  
口割合が急増し極端な少  
子・超高齢化社会に突入し  
ます。特に土木建設業界の  
人手不足は深刻であり、国  
内の建設就業者は平成9

024年問題による人手不  
足やコストの増大が業界全  
体の課題となっておりますが、  
昨年4月の働き方改革関連  
法の適用による、社内外の  
労働環境改善、整備などで  
皆さん大変ご苦労されてい  
ることと存じます。

加えて、本年は2025  
年問題に直面する年であり、  
75歳以上の後期高齢者の人  
口割合が急増し極端な少  
子・超高齢化社会に突入し  
ます。特に土木建設業界の  
人手不足は深刻であり、国  
内の建設就業者は平成9

024年問題による人手不  
足やコストの増大が業界全  
体の課題となっておりますが、  
昨年4月の働き方改革関連  
法の適用による、社内外の  
労働環境改善、整備などで  
皆さん大変ご苦労されてい  
ることと存じます。

加えて、本年は2025  
年問題に直面する年であり、  
75歳以上の後期高齢者の人  
口割合が急増し極端な少  
子・超高齢化社会に突入し  
ます。特に土木建設業界の  
人手不足は深刻であり、国  
内の建設就業者は平成9

年に685万人であったのに対し、令和2年には492万人となり約193万人減少しています。また令和2年における建設業就業者の年齢割合は55歳以上が約36%、29歳以下が12%という状況

新年のごあいさつ

土木・舗装委員会 委員長 拓進建設(株) 佐野裕康



新年明けましておめでとうございます。昨年中も関係各機関の皆様、組合員各社の皆様、委員会の皆様には大変お世話になりました。

昨年中は我々の地域だけみれば特に大きな自然災害もなく年を越せた様に思えます。しかしながら、国内全体で見れば1月の

です。このように建設業就業者の高齢化が加速している中で、ベテラン技術者が退職することで、人手不足が危険な状況に陥る見通しです。

が、その都度先輩方の努力により何とか乗り切りに結びついていくかと存じます。大変ではあり

が、その都度先輩方の努力により何とか乗り切りに結びついていくかと存じます。大変ではあり

石川県の能登半島地震、近年の異常気象により発生する記録的な大雨による水害が各地で起こり、多くの住民の生命、財産を奪い去りました。哀悼の意を表しますと共に災害の復旧、復興にご尽力された地元建設会社の

価格高騰、2024年度問題に付随する輸送コストの高騰により、工事費の増長に頭を悩ませる毎日です。

ほとんどの子が都会の大学、専門学校に進学します。そして都会で就職し、なかなか地元へは戻って来ない様に見て取れます。

さて、コロナ禍以降世界、日本経済への影響は我々の生活面においても原油価格上昇、近年の円安も相成つての各種材料の価格高騰が我々の生活を苦しめています。

我が、建設業界においても、建設資材の日々の

今年も皆様にとって良い1年でありませうように。と言言葉で締めたいと思います。

今年の夏はどうなる！

建築・安全委員会 委員長 宮鉄建設(株) 遠藤秋芳



新年あけましておめでとうございます。ふり返って、昨年の夏の暑さにはほどほどまいりました。夜になっても

温度が下がらず当地区の北山、白糸当たりの市街地より標高の高い場所でも涼しさを感ぜられず、今では井之頭地区でも工

アコンは当たり前となり毎年毎年平均気温が上昇している。驚いたことにあまりの暑さで海水浴の

学校で猛暑のために運動場の授業ができなくて、体育館に変更、夏の甲子園大会での給水タイム、

調服より重いが涼しさは確実に感じ、ファンが無いので静かであるとか、それぞれ暑さ対策には欠かさない。

試合の日程変更など農業の影響で、果物の果肉が柔らかくなったり、収穫前に変色し、売り物にならない大変な夏だった。

暑さ対策だが、ほとんど

暑いと感じる前に熱中症にかかる時もある。とにかく今年の夏も覚悟して各自身を守るしかない！

建設業許可業者数の推移

建築・安全委員会 担当理事 (株)三与建設 三尾祐一



新年明けましておめでとうございます。統計資料に基づいた分析が恒例と成っておりますので、本年も投稿させていただきます。

万社となり、最大数から20・23%減。対して静岡県内では、

この表は、対前年比減少率を、都道府県順位で並べたものだが、静岡県は平成26年の28位から27年は不名誉ながら2年連続減少率全国1位である。

図1の説明 建設業許可業者数(以下単に業者数)は、建設業許可期間が平成6年12月に3年から5年間に延長された関係で、許可期間5年の途中で廃業しても許可抹消手続きをしない事が多い為に、3年減少し2年増加する周期で変化してきた。全国では一番多かった平成12年3月末以降、業者数は減り続けて来たが平成30年を底として増加に転じ、令和6年も増加している。

このグラフは、都道府県別で業者数最大時対比の減少率データを図表化したものだが、まずは静岡県に注目してもらいたい。平成20年を境に全国平均より急角度で業者数が増加し、平成22年にはグラフの一番上、つまり最大時対比減少率で全国47位。言い方を換えれば全国一建設業者が減少していない県となった。

災害が多発している近年、防災や復旧の担い手として、また地域の次世代の建設業を担っていく為にも、組合員が一致団結し、生き残っていくしかない。

表1の説明 全国では、表右端1サイクル5年の「期間内変化率」の推移に注目。平成27年時の5年間の変化率▲7・85%と比べると、令和2年時の5年間は▲0・09%減で、ほぼ増減無し。令和3年からの本来ならば減少サイクルとなる3年間に0・17%増加し令和6年も0・93%増加と、明らかに減少から増加傾向に変わってきている。業者数は平成11年度末60万社の最大数から令和6年3月末に約48

その傾向は平成25年まで続いたのだが、平成26年で潮目が変わった。以後、加速度的に減少率は増え続け、ついに令和2年には全国平均を上回ってしまった。

図1・2、表1・2は次ページをご参照ください

Advertisement for Kaneko Hardware, featuring a truck and contact information for Kaneko Hardware Co., Ltd.

Advertisement for Agent Usami, featuring a car and contact information for Agent Usami Co., Ltd.

Advertisement for E-Yu-Sei Construction Co., Ltd., featuring a truck and contact information for E-Yu-Sei Construction Co., Ltd.

Advertisement for Gotoh Sekka, featuring a truck and contact information for Gotoh Sekka Co., Ltd.

(図-1) 建設業許可業者数の推移 (毎年3月末) ※平成12年が業者数最大値



対前年度変化数	全国	4,435	0.934%
	静岡県	103	0.759%

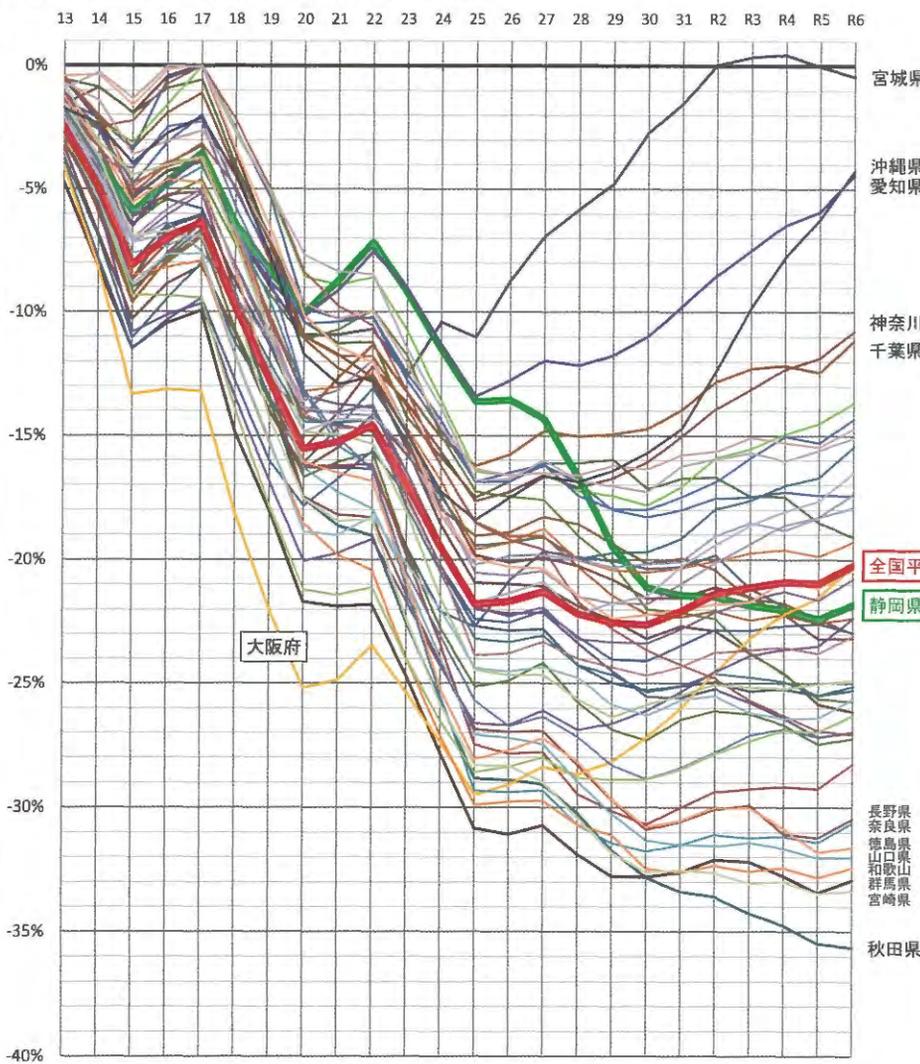
(表-1) 業者数最大時からの推移

年	業者数	前年比	期間内		期間内 変化率
			平均値	最大比	
平成12年	2000	600,980	←業者数最大		
平成13年	2001	585,959		-2.50%	
平成14年	2002	571,388		-2.49%	
平成15年	2003	552,210	-2.78%	-8.12%	-8.12%
平成16年	2004	558,857	1.20%	-7.01%	
平成17年	2005	562,661	0.68%	-6.38%	1.89%
平成18年	2006	542,264	-3.63%	-9.77%	
平成19年	2007	524,273	-3.32%	-12.76%	
平成20年	2008	507,528	-3.19%	-15.55%	-9.80%
平成21年	2009	509,174	0.32%	-15.28%	
平成22年	2010	513,196	0.79%	-14.61%	1.12%
平成23年	2011	498,806	-2.80%	-17.00%	-8.79%
平成24年	2012	483,639	-3.04%	-19.52%	
平成25年	2013	469,900	-2.84%	-21.81%	-8.44%
平成26年	2014	470,639	0.16%	-21.69%	
平成27年	2015	472,921	0.48%	-21.31%	0.64%
平成28年	2016	467,635	-1.12%	-22.19%	
平成29年	2017	465,454	-0.47%	-22.55%	
平成30年	2018	464,889	-0.12%	-22.64%	-1.70%
平成31年	2019	468,311	0.74%	-22.08%	
令和2年	2020	472,473	0.89%	-21.38%	1.63%
令和3年	2021	473,952	0.31%	-21.14%	-0.09%
令和4年	2022	475,293	0.28%	-20.91%	
令和5年	2023	474,948	-0.07%	-20.97%	0.52%
令和6年	2024	479,383	0.93%	-20.23%	1.46%
		4,435	対前年度増減数		



年	業者数	前年比	期間内		期間内 変化率
			平均値	最大比	
平成12年	2000	17,477	←業者数最大		
平成13年	2001	17,140		-1.93%	
平成14年	2002	16,809		-3.82%	
平成15年	2003	16,439	-2.02%	-5.94%	-5.94%
平成16年	2004	16,653	1.30%	-4.71%	
平成17年	2005	16,860	1.24%	-3.53%	2.56%
平成18年	2006	16,350	-3.02%	-6.45%	
平成19年	2007	16,018	-2.03%	-8.35%	
平成20年	2008	15,716	-1.89%	-10.08%	-6.79%
平成21年	2009	15,952	1.50%	-8.73%	
平成22年	2010	16,222	1.69%	-7.18%	3.22%
平成23年	2011	15,865	-2.20%	-9.22%	-3.78%
平成24年	2012	15,463	-2.53%	-11.52%	
平成25年	2013	15,095	-2.38%	-13.63%	-6.95%
平成26年	2014	15,106	0.07%	-13.57%	
平成27年	2015	14,972	-0.89%	-14.33%	-0.81%
平成28年	2016	14,552	-2.81%	-16.74%	-7.71%
平成29年	2017	14,070	-3.31%	-19.49%	
平成30年	2018	13,782	-2.05%	-21.14%	-7.95%
平成31年	2019	13,730	-0.38%	-21.44%	
令和2年	2020	13,721	-0.07%	-21.49%	-0.44%
令和3年	2021	13,658	-0.46%	-21.85%	-8.36%
令和4年	2022	13,628	-0.22%	-22.02%	
令和5年	2023	13,562	-0.48%	-22.40%	-1.16%
令和6年	2024	13,665	0.76%	-21.81%	-0.41%
		103	対前年度増減数		

(図-2) 都道府県別 業者数ピーク時対比の減少率の推移



(表-2) 対前年比 減少率順位

順位	ピーク対比 令和5年3月末	減少率	対前年比 減少率順位													
			26年	27年	28年	29年	30年	31年								
47	宮城県	-0.45%	12	16	8	21	25	13	11	11	25	23	14			
46	沖縄県	-4.27%	22	7	31	23	13	29	5	5	4	1	4			
45	愛知県	-4.44%	44	39	46	38	8	25	9	8	21	5	2			
44	神奈川県	-10.79%	47	47	47	47	47	42	45	29	24	19	5			
43	千葉県	-11.18%	21	5	13	2	5	1	4	6	10	6	6			
42	岐阜県	-13.67%	32	35	39	20	12	15	2	3	19	12	1			
41	滋賀県	-14.33%	46	46	40	35	24	10	22	2	5	10	3			
40	大分県	-14.72%	7	21	38	24	14	9	20	13	6	4	10			
39	鹿児島県	-15.08%	34	42	4	8	20	41	19	19	11	7	19			
38	埼玉県	-15.45%	8	27	11	14	33	16	30	20	7	9	25			
37	熊本県	-16.51%	30	23	28	39	36	30	44	32	40	38	44			
36	福岡県	-17.37%	41	45	41	37	39	35	41	34	27	27	42			
35	山梨県	-17.43%	15	31	20	17	30	33	31	21	31	35	37			
34	香川県	-17.92%	38	38	35	42	43	43	40	40	42	40	39			
33	岩手県	-19.11%	11	6	10	13	1	6	3	1	2	3	8			
32	三重県	-19.30%	13	11	15	9	9	8	18	9	8	8	15			
31	大阪府	-20.23%	17	24	16	27	15	18	26	16	17	13	21			
30	長崎県	-20.40%	3	10	18	10	16	7	14	12	33	17	18			
29	広島県	-20.79%	26	36	34	15	26	20	21	23	32	31	9			
28	東京都	-21.71%	20	13	9	5	4	22	25	28	1	29	34			
27	静岡県	-21.81%	18	18	33	33	22	36	43	33	39	42	31			
26	福井県	-22.35%	43	41	44	41	44	45	42	44	45	44	45			
25	兵庫県	-22.37%	35	33	17	28	29	14	16	31	29	25	24			
24	福島県	-22.95%	37	25	19	25	34	28	28	45	44	26	36			
23	山形県	-22.98%	4	17	3	22	17	37	35	26	26	32	41			
22	愛媛県	-23.09%	42	43	37	46	46	47	46	46	46	46	46			
21	茨城県	-23.18%	23	37	29	40	42	38	38	39	34	36	43			
20	高知県	-24.91%	24	15	7	18	21	21	23	17	22	22	38			
19	石川県	-25.13%	31	12	22	26	3	5	17	15	30	15	22			
18	北海道	-25.30%	1	28	27	7	18	27	33	43	35	21	16			
17	佐賀県	-25.64%	2	3	2	12	11	2	1	4	9	11	7			
16	新潟県	-25.74%	33	29	26	36	35	26	32	38	37	33	29			
15	青森県	-26.16%	5	26	12	34	31	32	34	35	36	20	33			
14	岡山県	-26.29%	13	鳥取県	-26.98%	14	4	5	6	7	4	7	27	14	16	11
13	鳥取県	-26.98%	40	34	23	3	6	19	27	22	3	2	17			
12	富山県	-26.99%	11	島根県	-27.08%	39	14	43	30	37	11	39	36	13	45	20
11	島根県	-27.08%	29	32	32	29	23	24	29	25	28	28	28			
10	栃木県	-27.24%	10	9	24	19	41	23	24	18	20	37	13			
9	京都府	-28.28%	19	20	25	31	32	39	36	41	41	39	35			
8	長野県	-30.48%	16	22	36	11	19	34	12	7	15	34	32			
7	奈良県	-30.62%	6	8	21	16	38	17	13	24	43	24	30			
6	徳島県	-31.62%	36	30	14	45	40	46	37	42	38	41	40			
5	山口県	-32.02%	9	19	45	43	28	31	10	37	16	30	27			
4	和歌山	-32.45%	25	1	6	4	10	12	6	10	23	14	12			
3	群馬県	-32.95%	27	40	30	32	27	44	15	30	12	43	23			
2	宮崎県	-33.37%	45	44	42	44	45	40	47	47	47	47	47			
1	秋田県	-35.65%														
	全国平均	-20.23%														

# 市への要望書提出

富士宮市長 須藤秀忠様  
 富士宮市議会議員 諏訪部孝敏様

## 要望書

日頃より、富士宮市政発展のため日々の多大なるご尽力に心より敬意を表します。また、富士宮建設業協同組合に対しましては、ご指導、ご鞭撻を賜わるとともに、公共事業関係予算の確保につきまして、平素よりご尽力いただいていることに対し、心より厚く御礼申し上げます。

さて、今年の1月1日には令和6年度能登半島地震が発生しました。このような大地震や豪雨等の自然災害はいつ発生するかわかりません。また、高度成長期以降に集中的に整備されたインフラの老朽化が加速度的に進行し、適切に対応しなければ、コストの増大のみならず、我が国の社会経済システムが機能不全に陥る懸念があります。このような事から国は、国民の生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持することができるよう、防災・減災、国土強靱化の取組の加速化・深化を図るとしています。

また、ロシアによるウクライナ侵攻やイスラエルとハマスの紛争がエネルギー・資材等の価格高騰や供給懸念を招き、この先も世界情勢や物価動向等の見通しは大変難しい状況であります。このように、地域建設業の安定的な継続も大変な時代となってまいりましたが、安全・安心に暮らせるまちづくりの中心的な役割を果たす産業として、建設業には大きな期待が寄せられています。

しかしながら、一方では担い手の確保・育成や生産性の向上、働き方改革など、地域建設業にとって克服すべき課題は山積しており、これらの解決に向けては、引き続き積極的な取り組みが求められています。

このような状況の中、我々建設業協同組合は「地域密着型の社会に奉仕する建設業」を目指し、地域インフラの安定的な整備・維持管理、防災・減災を柱として活動する「地域の守り手」として、また地域の安全・安心を確保する「公的な任務の担い手」として課せられた社会的使命を今後も継続して果たしていかなければなりません。そのためには、地域建設業の健全で安定した経営基盤の構築が不可欠であります。

これらのことを踏まえたうえで、若者が将来を託すことが出来る「魅力ある建設業」として持続的な発展ができるよう、公共事業の安定的・継続的な確保をお願い申し上げます。

これからも我々組合員一同、日々研鑽を積みながら、組合訓であります「信頼・協調・誠実」を



9月5日(木)に組合理事長、副理事長3名と事務局で富士宮市役所を訪ね、須藤秀忠富士宮市長、諏訪部孝敏市議会議員に次の内容の要望書を提出しました。  
 河原崎理事長は冒頭、令和6年の元日には令和6年度能登半島地震が発生し、このような大地震や豪雨などの自然災害は、いづどこで発生するかわからないのが現実であります。このような中、地域の社会資本整備や維持管理、災害対応を担う私達地域建設業は、人々が安全・安心に暮らせる社会づくりの中心的な役割を果たす産業として、大きく期待が寄せられていますが、依然として厳しい経営環境下であり、地域建設業の安定した事業経営を確立することが必須であると考え、市のご理解とご協力をお願いしました。

10月22日(火)の当組合の理事会に、富士宮市役所契約管理課長、工事検査課長及び担当職員に出席いただき、要望について富士宮市格での受注及び適正な履行の確保等を十分に検討したうえで、その後意図であるとの説明を受け、その後意見交換をおこないました。

合言葉に建設産業をアピールし、災害時には行政と共に迅速に対応できる、強固な体制づくりを目指してまいります。そのためにも、組合員の育成強化に更なるお力添えを賜りたく、次の事項についてご要望いたしますと共に、貴職の益々のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

## 記

### 要望事項1

市道舗装の老朽化が著しく、路面状態が全体的に悪く通行の支障になりそうな箇所が多く見受けられることから、道路交通の安全確保につながる市道舗装予算を多く確保し、舗装工事を多く発注して頂きたい。なお、当組合としても市内業者が舗装工事を受注できる体制を整える等の配慮をしてまいります。

### 要望事項2

工事の協議事項や変更指示等について早期の段階から速やかな対応をお願いしたい。これは、工事終盤になり工事完成書類の整理に当たり、市役所工事担当者からのメールが夜遅くになって入り対応を求められたり、設計変更に関する協議事項もなかなか答えが出ず、最終的に金額的な精算が間に合わず曖昧になることがあります。建設工事の労働力不足、担い手の確保は非常に厳しい状況

にあり、働き方改革を要求されている昨今において、発注者及び受注者共に悪い状況にあると思います。

### 要望事項3

令和6年3月29日付 国土交通省不動産・建設経済局建設業課長及び総務省自治行政局行政課長からの事務連絡において、令和4年度富士宮市の平準化率は0.5で令和6年度県目標の0.8に遠く及ばないものとなっておりますので、公共工事等の実施時期のさらなる平準化をお願いしたい。改正品確法において発注者の責務として「公共工事等の実施の時期の平準化」が規定され、改正入札法においては施工時期の平準化を講ずることが「努力義務化」されています。建設工事の労働力不足、担い手の確保は非常に厳しい状況であり、工事閑散期の4-6月には仕事が不足し従事者の処遇に悪影響が生じ、1-3月は労働力不足等による従事者の長時間労働や入札不調などの支障が出ています。

令和6年9月5日  
 富士宮建設業協同組合  
 理事長 河原崎 利光

## 要望の回答

### 【要望事項1回答】

市道の舗装状況についてのご指摘、また受注体制整備のご提案ありがとうございます。市としても現在の舗装状況について危惧しているところであり、道路パトロール体制を強化し、支障箇所の早期対応を図っているところです。また、今後の計画的な修繕のため、令和5年度に舗装長寿命化計画を策定し、令和6、7年度において地盤調査及び交通量調査を実施し、既存道路の長寿命化のための舗装構成の検討を行うこととしています。これらの結果に基づき必要な予算計上を行い、計画的な舗装修繕工事を実施することとしておりますので、工事の実施に当たっては積極的な受注及び適切な施工をよろしくお願ひします。

### 【要望事項2回答】

9月より市では業務の効率化と生産性向上のため

情報共有システムの試行を行うこととしました。このシステム活用により、書類の受理・承諾の速やかな対応や書類の作成・提出に係る移動コスト・時間の短縮が図られ、労働環境の改善につながるかを検証したいと考えておりますので、試行へのご理解・ご協力をお願いいたします。

また、受発注者共に労働環境が厳しい状況にあることは把握しており、そのような状況を改善するため、今年度当初より原則全工事で週休2日に対応した適正な工期設定を行っております。

### 【要望事項3回答】

施工時期の平準化は、年間を通じて工事量が安定することで、公共工事従事者の処遇改善や、人材、資材、機材等の効率的な活用促進による建設業者の経営健全化等に寄与し、ひいては公共工事の品質確保に繋がります。また、発注者にとって

も、入札不調の低減や業務量の平準化となります。

国土交通省の集計によると、静岡県を含む中部の平準化率は全国的に低くなっています。平準化率を上げるためには、債務負担行為の活用、柔軟な工期の設定、速やかな繰越手続き、積算の前倒し、早期執行のための目標設定と、様々な取組みが示されています。

市は、当初予算編成説明会において、職員に早期発注及び適正な工期設定の要請をしており、複数年度に亘り事業の実施が可能なものは債務負担行為等を活用するように説明しています。

市内の建設業が地域の若者を雇用し、地域に健全な建設業が発展することは、市にとっても重要なことです。今後も引き続き、公共工事の円滑な施工確保に取り組んでいきます。

# 女性部会活動

女性部会長 俣丸進建設  
塩川 紀江

新年あけましておめでとう  
ございます。新春の幕開けを  
心からお慶び申し上げます。  
平日頃から女性部会の様々な  
活動に對しまして、組合員の  
皆様にはご協力をいただき、  
心より感謝を申し上げます。

令和5年6月17日の會議に  
より、前任の清幸江様が相談  
役に就任され、私が第20代会  
長を仰せつかりました。幹事  
には小松みさを、鈴木祥子、  
遠藤朋子各女史が就任し、5  
人の役員体制でスタートで  
す。

富士宮建設業協同組合が昭  
和48年に設立され、女性部の  
前身「婦人部」が昭和52年設  
立し、事務局を組合事務所内  
に置くことになりました。平  
成12年3月に「婦人」という  
表現は、差別用語ということ  
から「女性部」に改名し現在  
に至っておりますが、男女同  
権が叫ばれている昨今の状況  
から、近いうちに女性という  
表現がどうかということも考  
慮し、名称変更も視野に入れ  
なければならぬ時が来ている  
のではと思っております。

護老人ホームの花の植替え  
(年1カ所から2カ所を目  
安)、富士宮市にタオルの寄  
贈を行っています。

市へのタオル寄贈について  
は令和3年12月14日、支援  
学校の花植替えについては令  
和4年8月10日、それぞれ富  
士宮市長・静岡県道路利用者  
會議会長より感謝状をいた  
だいております。これは会員の  
皆様のお力の賜物です。個人  
では出来ないことも、皆様の  
力を結集することで大きな集  
合体となり、ボランティア活  
動もこれまで継続してこれた  
のだと思えます。現在活躍中  
の会員の皆様は、部会設立当  
初から世代交代がなされてい  
ますが、またさらに次の世代  
に引き継いでいけたらと切に  
思います。

昨年は夏の猛暑により、人  
間はもとより自然界も大きな  
打撃を受けました。この原稿  
を作成時には、キャベツ半玉  
400円になっていました。1  
玉ですと700円にはなる  
様で、野菜の高騰が中々落ち  
着いてくれません。夏野菜の  
代表格であるキュウリやトマ  
トも例年の倍以上はしていた  
ことは記憶に新しいと思いま  
す。暑すぎて花が咲かず、実  
の付きも悪かったそうです。  
今年はどんな陽気になるので  
しょうか？年々春と秋が短く  
なり、夏・冬だけの「四季」  
から「二季」になってしまっ  
たのでは懸念しています。

今年(乙巳年)多くの人に  
とって成長と結実の時期とな  
る可能性が高いそうです。  
「乙」は未だ発展途上の状態  
を示し、「巳」は植物が最大  
限まで成長した状態を意味す  
るので、この組み合わせは、  
これまでの努力や準備が実を  
結び始める時期を示唆してい  
るそうです。ただし、人それ  
ぞれベースが違いためすぐに  
結果が表れる人がいる反面  
辛抱強さが試されて時間をか  
けて最終的に望む結果に近づ  
く人もいるとか。過去には1  
965年、東京オリンピックの  
翌年あたり、オリンピックピ  
ックの余韻が残る中、経済発展  
が加速した年でした。

少しの期待を含め、202  
5年が皆様に取りますよと  
らしい1年となりますように  
心よりお祈り申し上げます。  
また、女性部活動に關しまし  
ても、ご協力を賜りますよう  
お願い申し上げます。

☆ボランティア活動  
支援学校・花植え  
令和5年5月29日(月)  
11月27日(月)  
令和6年5月27日(月)  
10月28日(月)

は大小合わせて19個の花壇が  
あり、北高が北部分8個を支  
援学校が南部分11個をそれぞ  
れ担当しています。女性部で  
は、毎回、支援学校の生徒さ  
んが授業の一環として行う花  
植え作業のお手伝いを行って  
おりますが、令和5年と令和  
6年の兩年ともに夏花の花植  
えは悪天候のため中止となり  
ました。

お忙しい中でのご参加に対  
し、心よりお礼申し上げます。  
また、奥様だけではなく、従  
業員の皆様の参加について、  
ご配慮を下さいました組合員  
の皆様にも感謝を申し上げます。  
ありがとうございました。

中止、2年連続で  
台風のためにお手  
伝いは出来ません  
でした。  
冬花の植替えは、  
令和5年、11月末  
としては珍しく小  
春日和となり、朝  
は気温が低かった  
ため防寒装備で参  
加された方が多く、  
花を植える時間11  
時には、汗ばむ  
どころか「暑い  
ね」と口ずさみ  
早く着替えがした  
様子でした。令  
和6年、猛暑のた  
めに夏植えた花  
の状態があまり良  
くないため、例年  
よりも1カ月早い  
花植えとなりました  
。前日から愚図  
ついた天気が続い  
ていましたが、朝  
に雨が止んだこと  
で実施されました。  
予定された花壇11  
カ所へ、ピオラ2  
16本・パンジー  
720本の苗を植  
え替えました。曇  
天模様でしたが、  
暑からず寒からず  
の花植えにはベストな状態  
でした。夕方から雨が降り始め、  
次の日の29日夜には大雨警報  
が出たくらいの荒天に変わ  
りました。実施日があしず  
らして、どうなっていたこと  
でしょう。女性部の皆様の日  
頃の行いが、この結果をもた  
らしてくれているのだと思  
います。



19カ所の花壇には色とりど  
りのパンジーとピオラが植え  
られ、春まで元気に咲き続け  
てくれたらなと思います。何  
気ない日常において、「奇麗  
な花が咲いている!!」と思え  
る心の余裕を持ちたいもの  
です。

視察研修  
令和6年9月11日(水)  
平成19年までは、毎年6月  
頃は泊りの親睦旅行・10月、  
11月頃には日帰りの視察研修  
を行っていました。平成20年  
からは、参加者の減少や経済  
的な理由もあり、旅行は中止  
とし現在に至り、親睦旅行の  
代替として親睦会(食事会)  
を6月に年1回続けてきまし  
た。

昨年(乙未年)は、17  
年ぶりに視察  
研修として劇  
団四季の看板  
作品である  
「キャッツ」  
静岡公演を総  
勢13名で観劇  
しました。  
ホテルアン  
シア静岡レス  
トランにてバイキング料理に  
舌鼓をし、心躍らせ静岡文化  
会館へ向かいました。商店街  
では、「キャッツ」を後押し  
しているらしく、店の窓ガラ  
スには猫に扮した演者のペ  
イティングがされ、デパート  
にも猫の目をあしらったペナ  
ントが、あちらこちらに飾ら  
れてありました。静岡鉄道に  
も限定で、特別のペイント車  
両も登場しました。  
「キャッツ」は、昨年日本  
上演40周年を迎え、静岡には  
約10年ぶりに新演出でパワ  
アップして帰ってきました。  
静岡公演でしか見ることで  
きない舞台セット(ご当地コ  
ミといわれます)があり、大  
型サイズのうなぎパイの空箱  
や黄色の横断バックなどを皆

日本産業規格認証取得工場  
コンクリート用砕石及び砕砂  
**静甲工業(株)**  
本社/〒419-0315 静岡県富士宮市長貫 699-1  
TEL (0544) 65-1000 内  
南部工場/〒409-2303 山梨県南巨摩郡南部町十島 2450  
TEL (0556) 67-3201 内

**太陽建機レンタル株式会社**  
富士宮支店  
静岡県富士宮市西小泉町 23-1  
TEL: 0544-26-5011  
FAX: 0544-28-0102

**田口建材株式会社**  
代表取締役 田口 敏 寛  
事務所 静岡県富士宮市村山269-1  
TEL (0544) 23-6262~3  
FAX (0544) 27-1020

「未来を切り拓く技術」とともに「安全」と「安心」をお届けする  
**株式会社 富士宇部**  
代表取締役 中村 宏 昭  
〒421-3304 静岡県富士市木島258番地  
(富士工場) TEL 0545-56-0030 Fax 0545-56-2801  
(工事部) TEL 0545-56-0032 Fax 0545-56-2800  
(本社) TEL 0545-56-0033 Fax 0545-56-2800

さん熱心に探していました。本格的な劇団四季の『キャッツ』が初ミュージカルになった方もおり、演劇の楽しみなどを味わっていただけかと思えます。

ICTの進歩により、とても便利にはなりましたが、人と人の対面機会が少なくなっている昨今、顔を見ていろいろな話をしませんか。年代も違う方々の参加をいただき、学ぶ点も多いと感じています。ご参加いただきました皆様、ありがとうございます。次回も皆様を楽しめるイベントを計画しています。アイデア・ご意見などお待ちしております。

特養「かりんの家」

「楓の丘」花植え

令和5年11月20日(月) 令和6年11月19日(火) 平成26年からタオルを富士宮市に寄付する以外に何かボランティア活動が出来ないかと始めた活動ですが、一昨年から9年をかけて市内の特養10施設をすべて回りました。令和5年からは2巡目を迎え、大岩にあります「かりんの家」の花植えを行いました。施設側からは、既存のプランターや鉢などを使用しているという要望があり、組合からも22台のプランターを新たに購入し、パンジーやビオラを150鉢植えました。さらに、沿道沿いの花壇にはシュリアンや葉牡丹などを奇麗に配置し、施設の入りが華やかになりました。

令和6年は、羽鮒にあります「楓の丘」を訪問し、ピオラやパンジー・金魚草・ストック等200余の花を植えました。朝から寒い日となり、屋上の作業が多かったため、風が冷たく体感温度は1桁た

つたと思います。参加者の皆様は防寒対策をされ、いつもより厚着で作業を行っていました。それぞれ9名のご参加をいただきました。中には初めて参加して下さった方もおられました。皆様和気あいあいと作業をこなされていきました。今後継続して活動して参りますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

古紙売却

令和6年12月6日(金) 女性部役員と組合事務局

で、組合倉庫に保管してありました古紙を業者に売却しました。古紙込(新聞紙、雑誌、

動は、24回目となりました。平成22年までは、毎年実施していましたが、組合員数の減少に伴い回収量も減少、2年に1回くらいの頻度で業者へ売却しています。

今回は、前日の12月5日の昼前にコンテナが届きましたので、組合事務局・パトロール従事者の4名により、雑がみ・新聞紙・雑誌の積み込み作業を行いました。12月6日当日は、女性部役員によってパッカー車へ段ボールを積み込みました。

古紙をリサイクルすることで、償却ごみの減少になり、さらにはゴミの焼却量が減ることによって、焼却炉の寿命を延ばすことに協力していることになりました。また、資源が少ない国において、大切な資源を次世代に残していくことにつながります。小さなことかもしれませんが、一人一人が努力することで、大きな力になるのではと思っております。

今後引き続き活動して参りますので、組合員皆様のご協力をお願いいたします。分別や組合への持込み方法等、疑問がありましたら、

間がありましたら、事務局までご照会下さい。

タオル寄贈

令和5年12月5日(火) 令和6年12月13日(金)

組合員の皆さんからお寄せいただきましたタオル350枚を、令和5年・令和6年にそれぞれ富士宮市に寄贈いたしました。公共事業をやらせていただいている立場から、日頃お世話になっております市民の皆様へ、感謝の気持ちをお届けしたいという思いで、平成5年から

いてマフラーに、災害時にはたたんで枕・包帯の代用にも変身します。雑巾はあくまで雑巾です。また、石鹸についても時代の流れにより、昔は個々に石鹸を使って管理していましたが、ポディソープの普及でほとんど需要が無くなってしまったようです。



タオル寄贈 令和6年12月13日



タオル寄贈 令和5年12月5日

これまでの寄贈品は、雑巾1,787枚・石鹸2,000個・粉石鹸4箱・タオル8,850枚・書籍90冊・現金112,975円となります。これは、組合員皆様のお力の賜物です。令和3年には、市長より感謝状をいただきましたが、個人個人では微力であっても組合という組織力の大きさを発揮した結果だと思われま

今後継続して行っていきたいと思っておりますので、組合員の皆様のご協力をお願いいたします。



特養「かりんの家」(令和5年11月20日)



段ボール(2430kg、雑がみ110kg、アルミ缶23kg)となりました。前回は、令和4年11月1日に実施しましたので、2年ぶりとなります。売却単価は、古紙込がキロ7円から6円に値下がりし、アルミ缶はキロ70円・雑がみはキロ2円で価格変動はありませんでした。



平成6年から始めたこの古紙リサイクル活

◎資源を大切にしよう  
建設廃材中間処分(県)認可第2221002450号  
再生砕石販売  
**富士宮建廃協同組合**  
静岡県富士宮市山宮961-10  
事務所 TEL (0544) 58-4785  
プラント TEL (0544) 58-4072

子供の頃のような、あふれる想像力で...  
あなたのところをカタチにします。  
MIND CREATION~こころをカタチに  
前田道路株式会社 富士合材工場  
〒417-0846 静岡県富士市今井434-1  
TEL(0545)33-0627 FAX(0545)33-0630  
合材・常温合材・路盤材・乳剤販売 AS塊・CO塊受入

建設、土木資材、CO・ASガラ・土工事請負  
**丸工砂利販売(株)**  
〒418-0036 静岡県富士宮市沼久保398番地  
TEL:0544-27-2097 FAX:0544-23-3761  
HP-URL:https://marue-gp.com

重機土木工事一式・各種骨材販売  
解体工事・建設廃材収集運搬  
静岡県(般)-63-第23160号 (県)第9201045463号  
**株式会社 丸喜建材**  
富士宮市山宮961-10  
TEL (0544) 58-2154  
FAX (0544) 58-6385

# 優良工事受賞者

静岡県、富士宮市等の公共団体より、工事の品質・出来形・安全管理、創意工夫及び地域貢献度等に対し、成績優秀で、他の模範となる工事として2023・2024年に表彰された皆様を紹介します。

## 令和5年度

静岡県交通基盤部

働き方改革工事部門

**(株)坪井土建**

令和3年度白糸富士宮線道路改築工事(上野バイパス・道路改築工)

代表取締役…坪井多恵子  
現場代理人…佐野 伸次  
主任技術者…佐野 伸次



富士土木事務所 優良工事表彰

**拓進建設(株)**

令和4年度羽皷南田急傾斜地崩壊対策工事(崩壊土砂防護柵工)

代表取締役…佐野 裕康  
現場代理人又は・主任・  
監理技術者…佐野 晴久

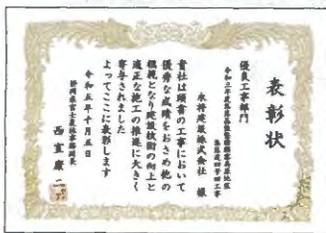


富士農林事務所 優良工事表彰

**永将建設(株)**

令和3年度集落基盤整備朝霧高原地区集落道4号4工事

代表取締役…永田 正二  
現場代理人又は・主任・  
監理技術者…中澤 貴司

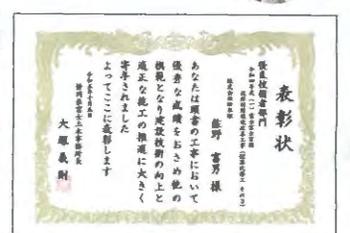


富士土木事務所 優良技術者表彰

**(株)鈴木組**

令和4年度(-)富士富士宮線道路利用環境改善工事(側溝改修工その3)

代表取締役…鈴木 統太  
現場代理人  
佐野 富男  
主任技術者  
佐野 富男



富士宮市建設工事表彰 優秀賞(土木部門)

**永将建設(株)**

令和4年度2級市道中村五斗目木線ほか3路線舗装工事

代表取締役…永田 正二  
現場代理人…上原 秀隆  
主任技術者…上原 秀隆



富士宮市建設工事表彰 優秀賞(土木部門)

**(株)三与建設**

令和4年度山宮ふじざくら球技場人工芝等整備工事

代表取締役  
三尾 祐一  
現場代理人  
石川 充利  
監理技術者  
石川 充利



富士宮市建設工事表彰 優秀賞(建築部門)

**(株)旭建設**

令和4年度富士宮市公共下水道事業星山浄化センター建物長寿命化工事(建築・電気工事)

代表取締役…石川 真司  
現場代理人…山口 之房  
監理技術者…清 勇貴



富士宮市建設工事表彰 優秀賞(建築部門)

**(株)三与建設**

令和3・4年度富士宮市宮万野住宅建設工事D棟工事(建築工事)

代表取締役…三尾 祐一  
現場代理人…遠藤 毅  
監理技術者…加藤 秀明



富士宮市建設工事表彰 優秀賞(建築部門)

(株)大石組

代表取締役…清 哲也  
現場代理人…鈴木 伸佳  
監理技術者…近藤 恒久

令和3・4年度富士宮市役所庁舎  
長寿命化工事(外構工区)



富士宮市建設工事表彰 優良賞

(株)井出恒組

代表取締役…増田 隆俊  
現場代理人…天野 佳秀  
主任技術者…望月 昇

令和4年度一般市道山本11号線  
改良工事



令和6年度

富士農林事務所 優良工事表彰

(株)小松建設

代表取締役…小松 寛  
現場代理人…工藤 悟樹  
監理技術者…工藤 悟樹

令和4年度農地防災ダム浚渫事業  
大倉川農地防災ダム地区浚渫1工事

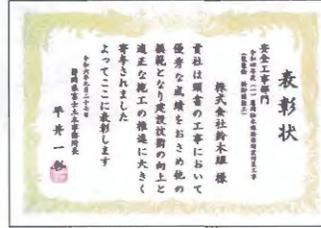


富士土木事務所 安全工事部門表彰

(株)鈴木組

代表取締役…鈴木 統太  
現場代理人…佐野 史昭  
主任技術者…佐野 史昭

令和4年度[第34-D7324-01号]  
(-)鷹岡柚木線橋梁耐震対策工事  
(龍巖橋 橋脚補強工)



富士宮市建設工事表彰 優秀賞(土木部門)

(株)坪井土建

代表取締役…坪井多恵子  
現場代理人…佐野 伸次  
監理技術者…佐野 伸次

令和4年度富士宮市公共下水道事業  
下川2号幹線管渠新設工事



富士宮市建設工事表彰 優秀賞(土木部門)

佐野藤建設(株)

代表取締役…佐野 哲也  
現場代理人…渡邊 早海  
主任技術者…渡邊 早海

令和4年度社会資本整備総合交付金  
事業2級市道西山安居山線改良工事



富士宮市建設工事表彰 優良賞

(株)井出恒組

代表取締役…増田 隆俊  
現場代理人…植松 正  
主任技術者…増田 隆俊

令和5年度富士山浅間大社周辺整備  
計画事業用地暫定広場整備工事

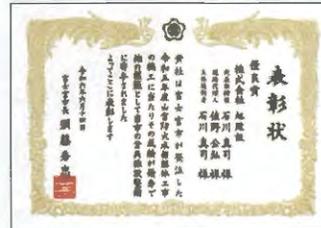


富士宮市建設工事表彰 優良賞

(株)旭建設

代表取締役…石川 真司  
現場代理人…佐野 公弘  
主任技術者…石川 真司

令和5年度山宮防火水槽解体工事





# 富士宮建設業協同組合の1年の活動

令和6年

## 能登半島地震 義援金

令和6年1月16日(火)  
昨年1月1日発生しました能登半島地震に対し、義援金として100万円を寄託しました。また、女性部会からも古紙売却代金から捻出した20,360円を義援金として送りました。



当日は、組合を代表して理事長及び副理事長・事務局長・女性部会長の6人が出席し、富士宮市長（日本赤十字社静岡県支部富士宮市地区長）に義援金を届けました。

## 機密文書処理システムのリサイクルの活用

平成30年7月1日にコアレス信栄株式会社と、「廃棄機密書類の委託業務契約」を締結し、12社の組合員がリサイクルシステムの活用をスタートさせ、令和5年は121箱（1,190kg）、6年は50箱（310kg）で合計171箱（1,500kg）の機密文書の処理を行いました。  
これからも、機密文書の適切な処理とリサイクル活動を推進してまいります。

## 第60回清掃運動

令和6年4月20日(土) 24日(水)

毎年「環境美化の日」に実施されている清掃運動を、今年度は市内各地域で4月20日、24日まで5日間市内全域で開催されました。

重点日である4月21日(日曜日)の清掃運動には、市内15区のうち3万1,882人の市民が参加し、地域の河川や道路の清掃に汗を流しました。私達の組合からも22、23日の2日間、皆様の協力により17台のダンブが出動し、市中からでた土砂処理27・24トン(20台)、路線清掃による可燃物・不燃物、不法投棄ゴミ1・37トン(16台)の搬出を行いました。

## 道路愛護

令和6年8月6日(火)

8月は、道路愛護月間となっております。毎年この行事に参加しています。

本年度は、国道139号東側の一級市道粟倉外神線の歩



## 道路パトロール業務

令和5年度の富士宮市道路点検維持補修業務の実績は、路面の穴埋め1,975箇所、路面の剥離箇所補修1,207箇所、側溝の清掃40箇所、側溝蓋の騒音防止等114枚、草刈除草・街路樹剪定35路線カーブミラー修整40枚となっております。



また、令和6年度から令和8年度の富士宮市道路点検維持補修業務委託を受託いたしましたので、これからも市民の皆様が道路を安全に利用できるように、道路パトロールを実施し、迅速な補修等の対応に努めてまいります。皆様からの情報もお待ちしています。



## ゴルフコンペ開催

令和6年7月23日(火)

組合員の親睦を深めるため、毎年恒例のゴルフコンペを、朝霧ジャンボリーゴルフクラブにおいて10名の参加により開催いたしました。結果はつぎの通りです。

### 防災訓練

令和6年10月9日(水)

富士宮市総合防災訓練の一環として、災害時相互応援に係る情報伝達訓練として、協力要請および出動要請に係るメール伝達訓練を実施しました。



の参加により開催いたしました。

優勝 (株)大石組 清 康彦  
準優勝 エーユー生コン(株) 加藤 雄二

**ホームページ**  
富士宮建設業協同組合  
https://fujinomiya-kensetsu.com/  
E-mail:miya-ken.s48@leaf.ocn.ne.jp  
皆様からのアクセスをお待ちしております  
〒418-0005 富士宮市宮原470-5  
TEL.0544-27-5526  
**組合員を募集しています!!**  
入会希望の方は上記迄。

重機土木工事一式・骨材販売 解体工事一式

**株式会社 丸 芳**

代表取締役 佐野 裕 亮

〒418-0047 静岡県富士宮市青木1186番地の1  
TEL (0544) 27-6048(代)  
FAX (0544) 27-8068

人と環境にやさしいものづくり

各種アスファルト合材製造・販売 常温合材  
アスファルト乳剤 アスファルト廃材中間処理

**株式会社 リサイクル芝川**

〒419-0315 静岡県富士宮市長貴551-1  
TEL (0544) 65-0850・FAX (0544) 65-1882

**watanabe**  
**株式会社 渡邊**

県知事許可(般-28)第21303号  
代表取締役 渡邊 智 司

〒418-0022 静岡県富士宮市小泉1853-16  
TEL (0544) 24-5123 FAX (0544) 23-3745  
https://www.pro-watanabe.co.jp

### 感謝状の受領

昨年1月1日に発生した能登半島地震によって、大規模な土砂崩れや家屋倒壊、道路の寸断や液状化が起こり、多くの尊い命が奪われました。

当組合員の株小松建設様は、地震における災害対策支援業務の一環として人員を派遣し、交代制ではありますが24時間体制で、石川県輪島市能登里山空港にて、待機支援車(災害支援にあたるTEC-FORCE隊員のため宿泊車両)の運転及

び管理業務にあたりました。出勤要請から短時間での対応が評価され、国土交通省中部地方整備局長より感謝状を受領されました。



### 小さな親切実行章受章



小さな親切運動とは、「できる親切はみんなでしょう、それが社会の習慣となるように」をスローガンに行われる全国的な運動であり、奉仕活動などを積極的に取り組んでいる事業

所を毎年選定し、選ばれた事業所に対して実行章を授与しています。当組合員の明徳建設様は、平成20年清水川の護岸工事受注をきっかけに、地元の大中里区への地域貢献・環境保全の一環として同川の清掃活動を開始しました。コロナ禍を除き昨年5月で15回目の奉仕作業を行ってきたことが評価され、今回の受章となりました。平成23年組合女性部も受章しています。

### 組合創立50周年

令和5年11月7日(火)



支え、協力してくれた12社に感謝状を贈呈しました。また、お忙しい中、須藤市長・諏訪部議長・深澤衆議院議員・木内県議会議員・近藤中央会東部事務所長様にご臨席いただき、ご祝辞をいただきました。その後、祝賀会を挙行し、大道芸人によるツヤグリングパフォーマンスを楽しみました。



50周年記念として、記念誌「50年のあゆみ」を刊行しました。これから次の世代へ引き継いでいけるよう、組合訓「信頼・協調・誠実」のもと、頑張りたいと思います。



昭和48年7月20日組合員45社で発足し、半世紀を迎えました。組合は、相互扶助の精神に基づき、必要な共同事業を行い、もって自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図ることを目的に設立されました。昭和60年代初期は最高61社の組合員数でしたが、現在は25社と少数精鋭で構成されております。世代交代がなされ、設立当初の組合員の2代目・3代目を中心として、積極的に組合活動に参加しております。

記念式典では、設立当初から現在まで50年間組合員として組合を

### 富士宮建設業協同組合役員および組合員名

#### 【役員】

- |      |          |       |          |       |
|------|----------|-------|----------|-------|
| 相談役  | 株大石組     | 清 哲也  | 株小松建設    | 小松 實  |
| 理事長  | 株小松建設    | 小松 實  | 河原崎建設(株) | 河原崎利光 |
| 副理事長 | 株丸進建設    | 塩川 進  | 株三与建設    | 三尾祐一  |
| 理事   | (有)渡邊建設  | 渡邊定賢  | 株加瀬澤組    | 加瀬澤 理 |
| 監事   | 株大石組     | 清 英基  | 株小松建設    | 小松 奈央 |
|      | 株野藤建設(株) | 佐野哲也  | 拓進建設(株)  | 佐野裕康  |
|      | 株山本組     | 山本 篤  | (有)坪井組   | 坪井孝文  |
|      | 宮鉄建設(株)  | 遠藤秋芳  | 株山本組     | 山本 篤  |
|      | 株旭建設     | 石川真司  | 光建業(株)   | 並木慎太郎 |
|      | 永将建設(株)  | 永田真一  | 株増富      | 増田隆俊  |
|      | 株大石組     | 清 哲也  | 株丸進建設    | 塩川 進  |
|      | (有)権工務店  | 佐野郁男  | 株三与建設    | 三尾祐一  |
|      | 株加瀬澤組    | 加瀬澤 理 | 宮鉄建設(株)  | 遠藤秋芳  |
|      | 河原崎建設(株) | 河原崎鉄平 | 無双建設(株)  | 加藤史久  |
|      | 株川俣組     | 佐野 孝  | 明徳建設(株)  | 河西幸一  |
|      |          |       | 株森下建設    | 森下孝一  |
|      |          |       | 株山本組     | 山本 篤  |
|      |          |       | (有)渡邊建設  | 渡邊定賢  |

### 編集後記

事業・広報委員会 副委員長  
株小松建設  
小松 奈央

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、令和7年の新しい年を健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

今年も「建設ふじのみや」の発行に際しまして、ご多忙中にも拘わらずご寄稿して頂いた皆様、広告を協賛して頂きました関係協力会社の皆様、また組合員の皆様のご協力には深く感謝を申し上げます。

昨年は元日よりマグニチュード7.6の能登半島地震が発生し、翌日には日航機と海上保安庁航空機との衝突事故、年初より多くの悲しみや不安で始動し、私も生活していく中で、いつどこで何が起きるかわからない事を実感したのを覚えております。

また、地球温暖化による異常気象が年々と加速しており、昨年度も「猛暑」10月下旬においても夏日の続出、富士山初冠雪の最遅、「豪雨」による水害、土砂災害がもたらした被害が各地で多く発生いたしました。異常気象による原材料価格、人手不足による物流費の高騰を受け、食品やサービス、電気・ガスなど幅広い分野での値上げの動きが広がり、私達の生活に大きな影響を及ぼし、地域建設業としても非常に厳しい状況を強いられております。

そのような中、一昨年度は富士宮建設業協同組合が創立50周年を迎えられたことは、組合訓「信頼・協調・誠実」を重んじてこられた諸先輩方や、これから引き継いでいかなければならない私達にとって非常に喜ばしいことでもあります。災害時の緊急対応では、迅速に復旧作業を行い、地域住民の生命を守る。地域建設業にしかできない特長を生かし、これからは富士宮建設業協同組合の一員として地域社会に密着、貢献していきたいと思っております。

本年度が皆様にとって飛躍の年となるようご祈願申し上げます。本年もよろしくお願いたします。